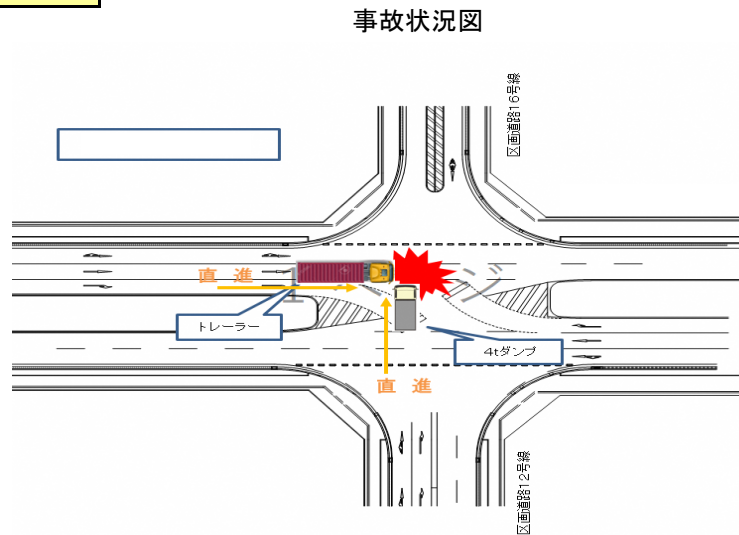


# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年 3月 1日(月曜日) 10時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	車両・自転車等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	車両破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	残土運搬工						
事故概要	臨港道路2号線と区画道路12号線との交差点で、本工事のダンプトラックと大型トレーラーが衝突したものの。						
事故原因	信号、一旦停止がない交差点において左右の安全確認が不十分であったため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残土運搬経路を統一化</li> <li>・再発防止会議を行い、信号の無い交差点に進入する際の徐行運転や左右確認の徹底について周知</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

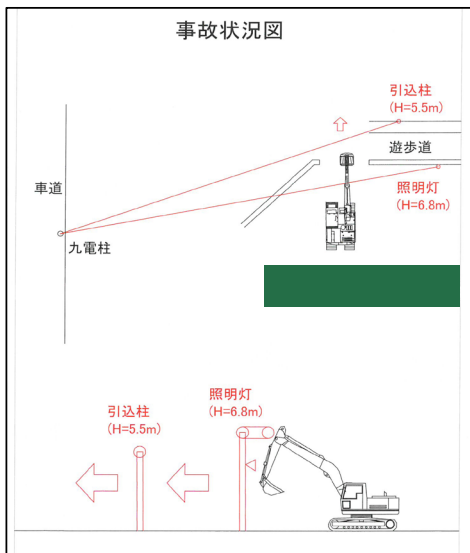


再発防止会議

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 3年 3月 2日(火曜日) 12時 50分		工事関係者区分	一次下請	
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	引込柱の屈曲・照明灯の破損		事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—	
工事概要	段差解消、海浜整形						
事故概要	バックホウ(0.8m <sup>3</sup> )を現場内で移動させていた際に、民間照明灯引込線及び、港湾空港局緑地照明灯引込線にブームを接触させ、民間照明柱(木柱)を倒壊させ、また港湾空港局引込柱を折損させたもの。						
事故原因	オペレーターが引込線を認識していなかった。 事故発生時に合図誘導者が配置されていないかった。						
改善策	架空線の近傍において作業機械を移動させる場合、合図誘導者を配置し、合図誘導者の指示を厳守させること。 架空線等を視認しやすくするため、標識等の設置を行う。						

## 事故状況図



破損箇所(左:引込柱 右:照明灯)



## 改善状況図

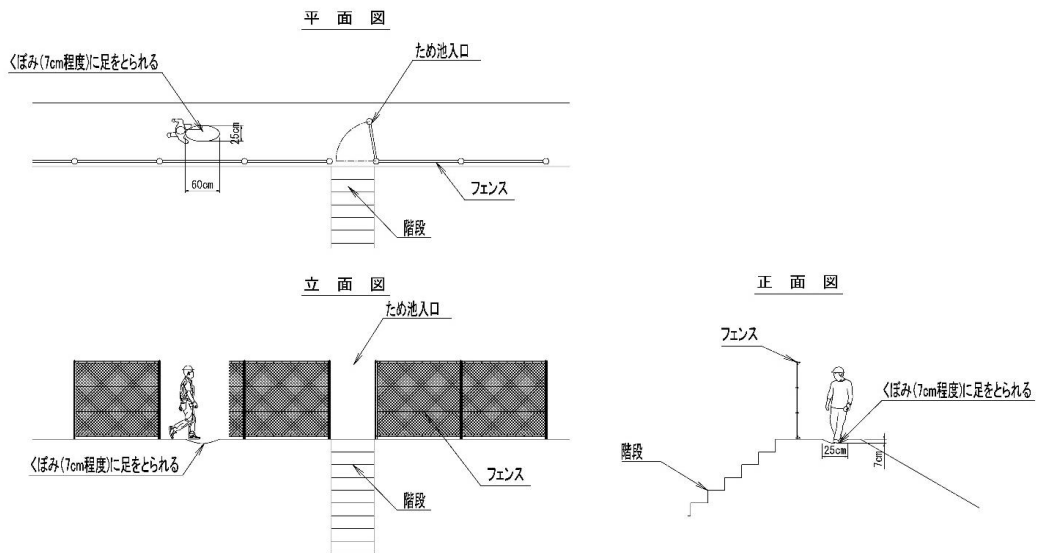


事故再発防止会議状況

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 3年 3月 6日(土曜日) 16時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他	性別	男性	年齢	56	業種区分	土木
被災程度	負傷(左足関節捻挫・外側靭帯断裂)			事故レベル	I	休業見込日数	0
工事概要	溜池改良工事						
事故概要	作業員(被災者)が溜池の堤体上(幅約1.5m)を移動していた時に、窪み(幅25cm、長さ60cm、深さ7cm)に足元を取られ左足を負傷(左足関節捻挫・外側靭帯断裂)したものである。						
事故原因	被災者の移動中における足元への注意が、十分でなかったこと。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の窪みについて、平坦にし、危険箇所の解消を行った。</li> <li>・再発防止対策として、社内で安全教育を行った。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図



危険箇所の解消(窪みを平坦にした)

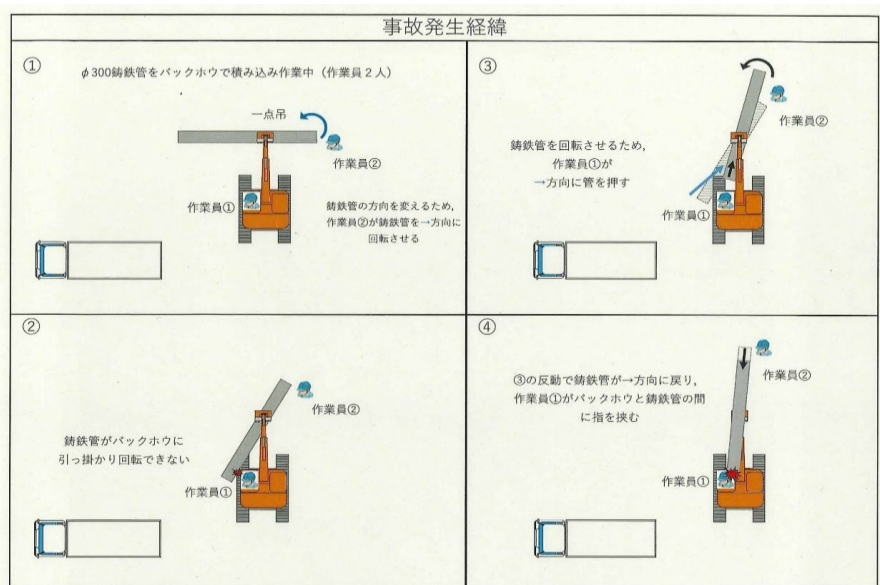


安全教育の実施(労働災害について)

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和3年3月23日(火曜日) 8時55分			工事関係者区分	元請け
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	48	業種区分	土木
被災程度	右人差し指裂傷			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	管布設工事						
事故概要	現場規制前に資材置場にて移動式クレーン付きバックホウで管材の吊り込み作業中、長尺管の向きを変えるため管を回転させたところ、吊荷の重心が変わり長尺管がバックホウにひっかかった。オペレータ(被災者)がレバーを握ったままもう片方の手で外そうと長尺管を前に押したため、吊荷が被災者側の乗るバックホウ側により込み、被災者の右手人差し指挟まり指を裂傷したもの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーター(被災者)と玉掛作業者との作業で合図の確認不足が原因と見られる。</li> <li>・日常的な作業に慣れ油断等心の緩み</li> </ul>						
改善策	<ol style="list-style-type: none"> <li>①玉掛け作業員は地切り確認と絞りをを行い、合図は一定の者を指名し、それに従って運転作業を行う。</li> <li>②長尺管を吊り込む際は、介錯ロープを用いて管と直接触れる作業を極力減らす。</li> <li>③毎朝のKY活動・朝の安全点検等の記録を残し、作業員の安全への意識を高める。</li> <li>④作業従事者全員の安全再教育をし、安全優先で施工を行う事への意識を高める。</li> <li>⑤安定性を考慮してトラッククレーンの使用を極力心掛ける。</li> </ol>						

## 事故状況図



## 改善状況

### ①更生会議



### ②現地KY、作業手順確認



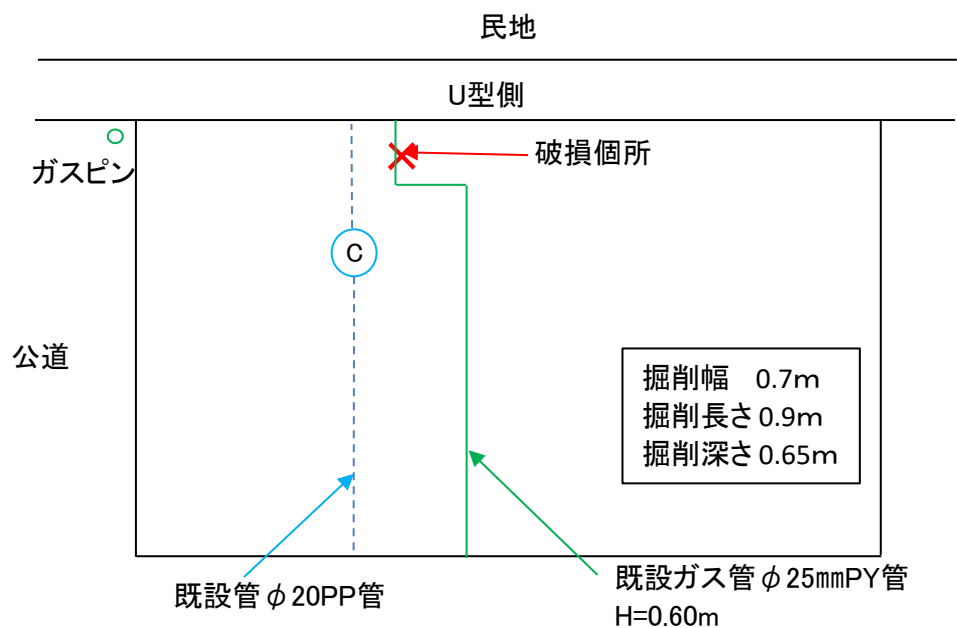
# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年3月28日(日曜日)11時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス供給管(簡易ガス)を破損			事故レベル	(技術監理課で記入)	休業見込日数	—
工事概要	既設管の緊急修理工事						
事故概要	掘削作業前に簡易ガス会社に地下埋設物位置の照会を行ったが、休日で担当者が不在の為、確認が取れなかった。そのため、すべての掘削範囲について人力掘削にて慎重に作業を行うべきであったが、人力掘削での確認を行わず機械掘削を行い、ガスを破損させたもの。						
事故原因	ガス管の埋設位置の確認ができていないにもかかわらず、人力掘削での確認を怠ったため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下埋設物付近を掘削する際は、人力にて慎重に掘削を行い、埋設物全体の確認を行うよう改善した。</li> <li>再発防止のため、社内研修を行った。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 平面図



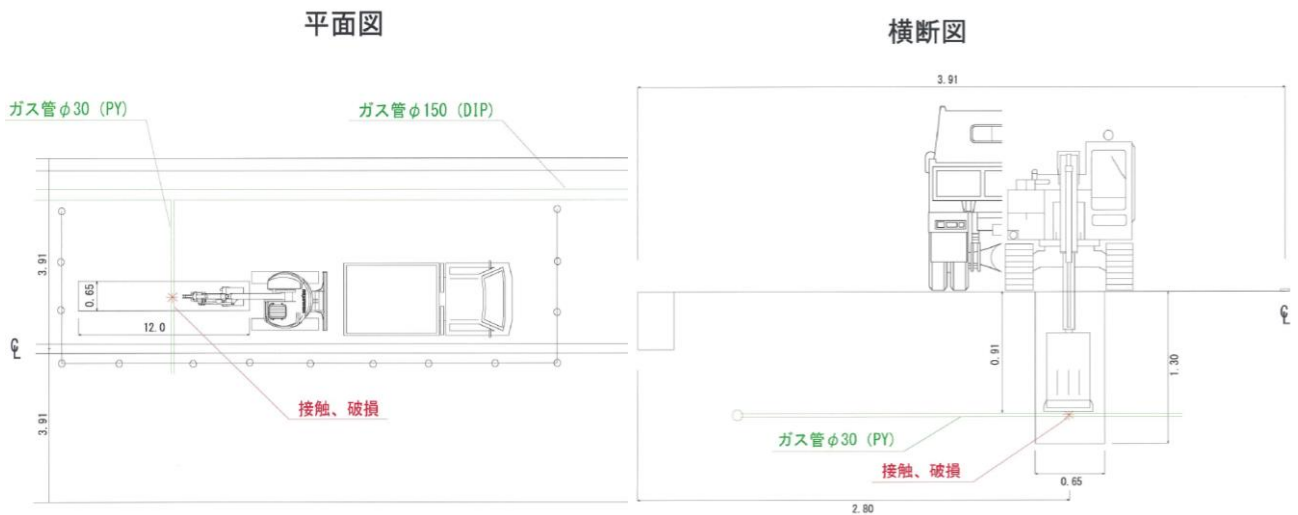
## 改善状況図



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年3月30日(火曜日) 10時50分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス管(φ30mm)の破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	管布設工事						
事故概要	バックホウで掘削中にガス供給管φ30の埋設に気づかず破損したものを。						
事故原因	①掘削を行う前に、オペレーターが、(ガス)マーキング箇所の確認作業が不足していた。 ②マーキング箇所が土砂で汚れており、見えづらくなっていた。						
改善策	・朝礼時に埋設物の確認及び現地での図面、マーキングの確認作業を徹底する。 ・路面が土砂で汚れている際はこまめに清掃し、マーキング箇所を常に明らかにしておく。						

## 事故状況図



## 改善状況図

### 研修内容

- ・事故の原因及び反省点
- ・再発防止対策の確認



# 公共工事等事故情報

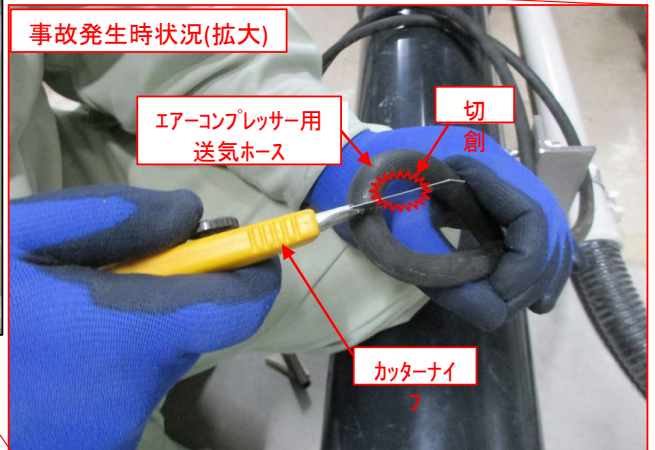
事故分類	労働災害	発生日時	令和3年3月18日(木曜日) 11時50分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他	性別	男性	年齢	24	業種区分	設備
被災程度	左手親指根元切創(腱損傷)			事故レベル	I	休業見込日数	0
工事概要	機械設備工事						
事故概要	エアーコンプレッサー用送気ホースをカッターナイフで切断する際、防刃手袋を着用せず、切れ味が落ちた刃を使用し過剰に力を入れた結果、誤って左手親指の根元を切った。						
事故原因	防刃手袋を着用せず刃物を用いてホースを切断しようとしたことに起因する事故である。また、劣化し切れ味の落ちた刃を取り替えずに使用し続けたことにより、通常より力を強いなければならない状況であったことも事故の一因である。						
改善策	安全ポケットブック及び参考資料を用いて、カッターナイフ使用時における注意事項を改めて指導し、防刃手袋の着用、器具の手入れの実施、刃先に手を置かないことを徹底した。						

## 事故状況図

事故発生時状況



事故発生時状況(拡大)



## 改善状況図

**⑤ カッターナイフを甘く見ない**

- カッターナイフを極力使わないよう作業方法を工夫
- ・カッターナイフをやむを得ず使う場合は
  - 作業箇所を整理整頓し、安定した作業姿勢で
  - 用途に合ったカッターナイフを使用
  - 刃の進む方向に押さえる手を置かず、手前に向かって引くように切る
  - 刃は、必要最低限の長さで使用
  - 切れが悪くなったら、新しい刃に。刃の折り線を下に向けて折り取ります
  - 使用後は刃先をしまい、固定してから所定の場所に
  - よく使う作業では、耐切創手袋の使用を

現場のルールを守りましょう

作業員への教育に用いた安全ポケットブック及び参考資料